


<p>【教材・教具名】 10枚（100枚）数え補助具</p>	<p>【教科・領域】 作業学習</p>
<p>【教材の使用材料】</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>段ボール カッター マスキングテープ コピー用紙の包装紙</p> </div> </div>	
<p>【ねらい】 10枚（100枚）を正しく数え、しわをつけることなく数えることができる。</p>	
<p>○使用方法</p> <p>10枚数え</p> <ol style="list-style-type: none"> ① メモ用紙を1枚ずつ枠内に入れる。 ② 下のくぼみに指を入れて紙をつかむ。 <p>100枚数え</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 10枚の紙の束を枠内に入れる。 ② 下のくぼみに指を入れて紙をつかむ。 <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙が枠内に収まるようにした。 ・数えが正しくできるように、枠内に紙を入れるようにした。 ・廃材の段ボールで簡単に作成できるため、修理も容易。 	
<p>○効果</p> <p>数唱が難しい生徒でも、視覚的に枠内の数字を見ながら数えられるようにしたことで、間違えずに数えることができる。視野が狭いなどの障害特性のある生徒に対しては、足りない部分を教師と一緒に確認することで、“数え”の作業に取り組むことができる。間違えず作業内容に慣れてきたら、補助具の使用を止めても、10までの数唱をしながら、1枚ずつ丁寧に数えることができている。また数えを10回繰り返すことで100枚束作りの作業内容まで担当作業が広がった。また、補助具の使用によって、1枚ずつ紙を操作して枠内に収めるようになるため、指先の力を加減できるようになってきている。</p>	